

社 協 名	三股町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	No.2 障がい者ガイドヘルプ体験 No.3 県下一斉ボランティアの日 (第29回エコロジーボランティア)						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	○駅周辺・公園・道路・河川敷などを22箇所に分けて 草刈り・ゴミ拾い・分別作業を行う。 ○視覚障がい者と一緒に作業をしながらガイドヘルプを 体験する。						活動分野
							福祉
実施日	令和6年8月25日(日)						
活動場所 (建物名等)	三股町総合福祉センター、三股駅、各自治公民館、各公園 ほか						
協力団体	三股町ボランティア連絡協議会、三股町さんさんクラブ 身体障害者連絡協議会、視覚障害者福祉会、障害者家族会 三股中学校、三股町役場						
総 数 (体験者数+協力者数)							511名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			14			468	482名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						29	29名
活動の 様子など	毎年協力をいただく参加者の高齢化が進む 中、中学生が部活単位で参加して頂いた事で、 活気があり、作業が効率良く進められた。 同時に、視覚障がい者に声掛けしながら一緒 に作業をする事で、自然にガイドヘルプの方法 を学ぶ事ができた。						 

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを
 実施した日の協力者を指します。

社 協 名

三股町社会福祉協議会

ボランティア体験プログラム名		『つ・な・が・る 味噌づくり』体験						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	宅食型フードバンク事業の一貫で、利用者へ届けるための味噌づくりの体験を行う。						活動分野	
							複数の分野	
実施日	令和6年8月18日(日)							
活動場所(建物名等)	ひかりの森							
協力団体	True Meals(食育推進ボランティア) ひかりの森こども園(社会福祉法人 心耕福祉会)							
総数 (体験者数+協力者数)							9名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
	3	1	2				6名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						3	3名	
活動の様子など	<p>宅食型フードバンク事業『どうぞ便』の説明をした後に、地産地消にこだわった材料を使い、実際に味噌づくり体験を行った。 小学生未満のお子様でも簡単にお手伝いできた。 更には、出来上がった味噌が、困った人の役に立てられると聞き喜んでいた。</p> 							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名

高原町社会福祉協議会

ボランティア体験プログラム名	たかはるをきれいにしよう会						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	町内のボランティア活動を行う団体が一斉に集まることで、各ボランティア団体を認識しその状況を理解することで、ボランティア参加促進につなげたい。 ・清掃活動						活動分野 自然・環境
実施日	令和 6年8月24日(土)						
活動場所(建物名等)	ほほえみ館・神武ホール・南側駐車場周辺						
協力団体	高原町ボランティア連絡協議会						
総数 (体験者数+協力者数)							6名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
					1	2	3名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						3	3名
活動の様子など	<ul style="list-style-type: none"> ・広い敷地内を、ボランティア団体の方々と一緒になり清掃が行われていた。 ・ボランティア団体の方に聞かれたようで、軍手や掃除道具(ホウキ)などを準備されておられた。 ・「何かしたいと思っていました」と話される方や、大学の休みに参加してくれた方など、これからのボランティア活動のきっかけになれたようである。 						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名

高原町社会福祉協議会

ボランティア体験プログラム名		人生の先輩と語らう会						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 外出機会の少ない高齢者へ傾聴をすることで、支え合いの輪が広がることを目指す。 高齢者の外出の機会を増やすためにボランティアが行っている環境整備を体験する。 						活動分野	
							福祉	
実施日	令和6年9月19日(木) ~ 9月30日(月)							
活動場所 (建物名等)	町内4か所 (1) 蒲牟田会場： 令和6年9月19日(木) (2) 下広原会場： 令和6年9月24日(火) (3) 上後川内会場： 令和6年9月24日(火) (4) 中央茶飲み場： 令和6年9月25日(水) 27日(金) 30日(月)							
協力団体	いきいきリーダー・茶飲み場世話人							
総数 (体験者数+協力者数)							22名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						17	17名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						5	5名	
活動の様子など	<ul style="list-style-type: none"> 各茶飲み場ボランティア（世話役）より活動の説明を受け、茶飲み場開催の準備を行った（会食の調理、お茶の準備 他）。 同じ町内の方々と知り合っている方もおられ、スムーズに輪の中に入っておられたようである。 調理中は、世話人さん達との話が弾んでおられ、「何時から準備されるんですか?」「毎回されるんですか?」と質問が飛び交っていた。 「町内でこういう活動をされていることも知らなかった」、「ボランティアでされていることにびっくり!」などの感想も聞かれた。 							



※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高原町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名	点字をやろう会						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	点字を打ち、アイマスク体験を行うことから、視覚障がい者への理解を深め、サポートすることの重要性を知ることを目的とする。						活動分野
							福祉
実施日	令和6年 7月 26日(金) ・ 8月 22日(木)						
活動場所(建物名等)	中央茶飲み場 ・ ほほえみ館福祉団体室						
協力団体	いきいきリーダー						
総数 (体験者数+協力者数)							15名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						13	13名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						2	2名
活動の様子など	<ul style="list-style-type: none"> ・「点字」に初めて触れるという方がほとんどで、身の回りにたくさんの点字があることにびっくりされた方が多かった。 ・点字に凹凸があること、この凹凸を視覚障害の方が指で触っただけで読み込めること、6つのボツでひらがなを表現できることに、「これまで知らなかった世界」との感想が聞かれた。 ・アイマスク体験から、視覚障害の方が行動するのが大変であるかわかったようであった。 						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	国富町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	第21回 「きれいなまちづくりボランティアのつどい」						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	福祉のまちづくり、自然環境保護など多様なボランティア活動への理解を深めることを目的に開催。町内4コースに分かれ、県・町道の歩道部分の清掃美化活動を行った。収集したごみは、社協事務所前で分別した。						活動分野 自然・環境
実施日	令和6年8月25日(日)						
活動場所 (建物名等)	国富町内の県・町道の歩道部分						
協力団体	国富町ボランティア連絡協議会						
総 数 (体験者数+協力者数)							55名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		3	1			47	51名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						4	4名
活動の 様子など	<p>町内4コースに分かれ、県・町道の歩道部分の清掃活動を行い、1時間で5袋ほど集まりました。</p> <p>当日は暑さもありましたが、皆さん笑顔で活動されていました。町内が綺麗になり、皆さん気持ち良く帰路につかれました。</p>						
	 <p style="text-align: center;">開会の様子</p>			 <p style="text-align: center;">清掃活動の様子</p>			

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	綾町社会福祉協議会
-------	-----------

ボランティア体験プログラム名		みやざきボランティア体験月間 in あや					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	町内在住の小学生～一般の方を対象に、福祉分野での仕事内容や現状等を知ってもらうことを目的として、町内福祉施設(児童・介護・障がい者)と、町内のボランティア団体に協力を依頼し、利用者との交流や環境整備等ボランティア活動を行う。						活動分野
							福祉
実施日	令和6年7月22日(月) ～ 9月30日(月)						
活動場所(建物名等)	町内福祉施設、町内公民館、横町憩苑						
協力団体	綾幼稚園・中坪保育所・南俣保育所・綾町児童館 綾町デイサービスセンター・障がい福祉施設 せんり こだわりの子ども食堂・綾スマイルカレー会						
総数 (体験者数+協力者数)							39名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		1	36			2	39名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
							0名
活動の様子など	<p>写真は、町内保育所・デイサービスセンターでの活動の様子です。 初めは緊張していた様子でしたが、時間が経つと利用者や児童とすっかり打ち解け、楽しく活動ができたと話してもらいました。 児童・高齢者・地域とのふれあいを通して、福祉とボランティアについて関心を持っていただけたと思います。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	綾町社会福祉協議会
-------	-----------

ボランティア体験 プログラム名	環境ボランティア						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	九州電力より2名の講師に来ていただき、自分たちの周りで使われている電気について、クイズや実験を通して学んだ。 参加者も積極的に実験に参加し、気になったことを質問していた。						活動分野 自然・環境
実施日	令和6年8月9日(金)						
活動場所 (建物名等)	綾町児童館						
協力団体	九州電力						
総 数 (体験者数+協力者数)							22名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		21	1				22名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
							0名
活動の 様子など	<p>写真は、参加児童が電気をつくる仕組みについて学びながら、身の回りで電気が使われているものを探すクイズに挑戦しているところです。</p> <p>手回し発電機や風力発電の実験器具を用いて電気を発生させたり、「世界で一番電気を使っている国はどこですか？」など、参加者は積極的に質問していました。</p> <p>活動を通して、地球環境について楽しく学んでいただけたと思います。</p>						 

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名		高鍋町社会福祉協議会					
ボランティア体験プログラム名	ペットボトル・ペットボトルのキャップを集めよう!						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	誰でも、すぐに始められるボランティア活動でもあり、同時にエコ活動を学ぶ					活動分野 自然・環境	
実施日	令和6年7月22日(月)～8月23日(金)						
活動場所(建物名等)	高鍋町社会福祉協議会・高鍋町内						
協力団体	株式会社山崎紙源センター・高鍋西都法人会						
総数 (体験者数+協力者数)							181名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	78	8	9	1		84	180名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						1	1名
活動の様子など	<p>7月22日(月)山崎紙源センターの方にペットボトルについて講話をして頂き、ペットボトルの再生のしくみについて勉強をしました。</p> <p>活動を周知するために高鍋町の6校(小・中・高)へのボランティアのお願いに行きました。また、高鍋町のLINEで情報発信。たくさんの方の皆さんが熱い中や雨の中でも社協にペットボトル・キャップを持ってきてくださいました。</p> <p>町内にある保育園では、この活動を保育園内でしてくださいました。</p> <p>回収後は、ペットボトルは山崎紙源センター高鍋へ運び、その売り上げ金は石川県を通して義援金として3080円振り込み、キャップは高鍋西都法人会を通してポリオワクチン約26名分の購入に充てることができました。</p>					 <p>(写真)</p>  	

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高鍋町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	手話で会話をしよう						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	手話を学びながら聴覚障がい者の方々と交流をする。						活動分野
							福祉
実施日	令和6年8月8日(木)						
活動場所 (建物名等)	高鍋町社会福祉協議会 大会議室						
協力団体	手話サークル「もくせい」・聴覚障害者の方々						
総 数 (体験者数+協力者数)							12名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		4	1			1	6名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						6	6名
活動の 様子など	<p>聞こえている人、聞こえていない人の区別がわからないように始めに手話サークルの方、聴覚障がい者の方を紹介。 その後一人ひとり自己紹介をしました。参加者に自己紹介をするための、手話を覚えて挨拶・名前・学校名・学年などサークルの人や聴覚障がい者、参加者全員で手話で会話をしました。 また、最初に好きな食べ物を書いたので、その手話も覚えました。 最後に聴覚障がい者の方に困ったことや自分の生活のことなどを話して頂き、質問したりして交流を深めました。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高鍋町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		鳴野浜をきれいにしよう！					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	誰でも、すぐに始められるボランティア活動として浜の清掃をする。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和6年8月25日（日）						
活動場所 (建物名等)	鳴野浜						
協力団体	高鍋町ボランティア連絡協議会・高鍋町役場 町民生活課 環境保全係						
総 数 (体験者数+協力者数)							72名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	2	2	10	5		38	57名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						15	15名
活動の様子など	<p>早朝6：30～約1時間程 軍手・ゴミ袋・火ばさみ等を参加者に渡して海岸のゴミ拾いを行いました。 ガラスの破片なども多くあり、町の分別方法に沿ってゴミ袋に入れていきました。 最後にゴミを細かく分別しながら袋をまとめ、お茶・塩アメ・パン等を参加者全員に配りました。 昨年よりもペットボトル等のゴミが少なくなっているようで少しずつ環境がよくなってきている印象でした。 ゴミの収集は役場に依頼。翌日には回収。</p>						 

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高鍋町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名	地域ふれあい食堂でボランティア							
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	月に1回蚊口ふれあい食堂があり、地域の居場所になっています。そこでテーブルや椅子の準備、配膳をしながら地域の方々とのふれあいを体験する。						活動分野	
							まちづくり	
実施日	令和 6年7月20日（土）、8月10日（土）、9月14日（土）							
活動場所(建物名等)	蚊口地区学習等供用施設							
協力団体	蚊口地区の皆さん							
総 数 (体験者数+協力者数)							40名	
	うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			3	5	2			10名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
						30	30名	
活動の様子など	<p>食事ができるように、テーブル・椅子・食器の準備、消毒をする。 配膳の準備・盛り付け、参加者とのふれあい、片付け。様々な年齢の方々との交流を深めた。 最後に代表の方から「目の前にあるゴミを捨てる」ことも大切。その気持ちを忘れないで欲しいということをお話された。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

		社 協 名		新富町社会福祉協議会			
ボランティア体験プログラム名		富田浜クリーン活動					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	新富町は日向灘に面しており、ウミガメの産卵場所になっている。 ごみ拾いを行い、自然環境保全を目指す。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和6年9月7日(土)						
活動場所(建物名等)	富田浜						
協力団体	新富町、新富町ボランティア連絡協議会						
総数 (体験者数+協力者数)							231名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	4	10	83	3	0	116	216名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						15	15名
活動の様子など	<p>富田浜クリーン活動は、3年目を迎えました。今回、台風10号通過後ということで大量のごみを想定していました。しかし、富田浜クリーン活動前にウミガメ保存会やヴィアマテラスの選手達が清掃活動を行っており、大きいゴミはありませんでした。</p> <p>その際に手の届かなかった北側のごみ拾いを中心に今年を行いました。小さなごみやプラスチックが多く、見逃してしまいそうでした。北側に住んでおられる方が「こちらまで清掃してくれるのはありがたい」と語っていました。</p> <p>当日ウミガメが孵化していたので、ウミガメ放流も見ることができました。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	西米良村社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名	ふれあいガーデニング						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	村内を花で彩るまちづくりの一環として、また、村民の方々にきれいな花をみて元気になってもらうことを目的としてプランターへ花植えを体験してもらう。						活動分野
							まちづくり
実施日	令和6年7月4日(木) 13:30 ~15:00						
活動場所(建物名等)	村所地区 通いの場						
協力団体	通いの場の参加者						
総 数 (体験者数+協力者数)							9名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						7	7名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						2	2名
活動の様子など	<p>梅雨が明けて晴天となり、気温も上がり、短時間の作業でも汗が出るほど暑くなった。熱中症対策を行い、日陰での作業ができるように環境を整えての実施となった。参加された皆さんはきれいな花を見ると、並べ方等相談しながら行う様子がみられた。</p> <p>植え終わったあとは、水をあげながらお花があると元気になる、などの声もあがっていた。</p> <p>社協では認知症啓発の一環としてオレンジガーデニングも実施しており、それと合わせて皆さんからはさらに興味を示していただいた。</p>						  

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	西米良村社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験 プログラム名	使用済切手を送ろう						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに興味を持っていただくきっかけづくりとして、参加者で交流をはかりながら、使用済切手をただ捨てるのではなく収集・整理して郵送することが紛争地等の支援の一つになることを知ってもらい体験してもらう。						活動分野
							福祉
実施日	令和6年 7月 17日(水)・7月 23日(火)						
活動場所 (建物名等)	上米良多目的集会施設 板谷多目的集会施設						
協力団体	通いの場参加者						
総 数 (体験者数+協力者数)							12名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						10	10名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						2	2名
活動の 様子など	<p>始めに、今回の体験プログラムについて説明させていただくと、ボランティア体験プログラムのことや使用済切手を送ることが支援になることを知らない方がほとんどだった。最初は戸惑っておられた方も、次第に慣れてこられたようで、珍しい絵柄の切手があると他の方とそれを共有しながら、手を止めることなく作業された。</p> <p>今回のように、自由にお話しながら気軽に体験していただくことで、ボランティアに興味をもっていただくきっかけの一つになったのではないかと思います。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	西米良村社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験 プログラム名	高齢者との清掃活動体験						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	八幡神社の除草・清掃等を行うことを目的に活動する。高齢者と児童の交流の場ともなり、西米良村で大切にされている「菊池の精神」の元になっている菊池家の歴史に触れる機会とし、日頃からの感謝の気持ちをこめて清掃を行う						活動分野
							自然・環境
実施日	令和6年 8月 22日(木) 8時～						
活動場所 (建物名等)	村所八幡神社						
協力団体	西米良村子ども会育成連絡協議会・村所東長寿会						
総 数 (体験者数+協力者数)							32名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		20				10	30名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						2	2名
活動の 様子など	<p>夏休み最後の週にもかかわらず、多くの子供たちと保護者に参加していただいた。久しぶりに神社に来た方もいたようで、まずは皆さんそろって参拝をしてからの作業となった。</p> <p>老人クラブ会員の皆さんは、この活動をずっと続けてきたこともあり、手慣れた様子で作業をすすめ、子ども達も友達同士で話しながら、細かい草まで取ってもらったりと、丁寧に作業されていた。蒸し暑い中での作業となったが、清掃後のきれいになった神社をみて、みなさんが笑顔になっていた。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

		社 協 名		木城町社会福祉協議会				
ボランティア体験プログラム名		手話教室						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容		聴覚障がい者の日常を知り理解を深めるとともに、コミュニケーション手段である手話学習を行った後、聴覚障がい者の方へ支援をおこないながら手話ボランティア活動を体験することを目的に実施。				活動分野		
						福祉		
実施日		1回目 令和6年9月25日(水) 2回目 令和6年9月30日(月)						
活動場所(建物名等)		1回目 高城児童館 2回目 椎木児童館						
協力団体		木城手話サークル「もくもく」						
総数 (体験者数+協力者数)		1回目 12名 2回目 26名				38名		
うち、ボランティア体験プログラム参加者数		小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			7				5	12名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数		小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			20				6	26名
活動の様子など		<p>聴覚障がい者の方に来ていただき、日頃、使用している会話を交えながら手話を教えて頂いた。今回は、子供たちに童話の歌詞を手話でおぼえ歌いながら、手話の練習を行いました。</p> <p>また、聴覚障がい者とのコミュニケーションを図りながら、手話ボランティア活動を体験しました。</p>						
								

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	木城町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		防災講座						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	自分の命は自分で守る行動がとれるよう 自主防災による講座						活動分野	
							防災・安全	
実施日	令和6年7月31日(水)							
活動場所 (建物名等)	木城町福祉センター研修室							
協力団体	木城町日赤奉仕団 木城町更生保護女性会 木城町民生委員児童委員 木城町さんさんクラブ連合会							
総 数 (体験者数+協力者数)							42名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						9	9名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						33	33名	
活動の様子など	<p>新富町危機管理課 黒田講師による防災講座の内容には、南海トラフ地震の備えと地震臨時情報の発表時の対応、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」コミュニティーの大切さを学びました。</p> <p>講座、「マイタイムライン」風水害時、自分はどのタイミング避難するか、グループワークを行い、情報の共有を図りました。</p>							
								

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	川南町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名	みんなで守ろう！伊倉浜海岸！						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	伊倉浜海岸の環境保全を目的として、浜の清掃活動を行う。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和6年7月27日（土）						
活動場所(建物名等)	川南町伊倉浜海岸						
協力団体							
総 数 (体験者数+協力者数)							163名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	1	8	61	2	1	90	163名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
							0名
活動の様子など	<p>伊倉浜海岸は、アカウミガメが産卵のために上陸する貴重な海岸です。 上陸の障害となる漂着物を少しでも減らすため、一斉清掃活動を行いました。 多くの町民の方々が参加して下さったおかげで、長い海岸の端まで清掃活動を行うことができました。 昨年に引き続き、今年も大勢の町内の中学生が参加して下さり、活気ある清掃活動となりました。</p>						 

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都農町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		音声訳ボランティア					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	視覚障がい者の方々に、定期的に発行される町週報をテープに録音し、声のお便りをつくる音声訳グループ「ひなげし」のボランティア活動を体験した。						活動分野
							福祉
実施日	令和6年7月23日(月)						
活動場所(建物名等)	都農町社会福祉協議会(都農町老人福祉館)						
協力団体	音声訳グループ「ひなげし」						
総数 (体験者数+協力者数)							7名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		6					6名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						1	1名
活動の様子など	<p>音声訳グループ「ひなげし」の会員からボランティアについての説明を受け、ボランティアの必要性を理解した上で参加した。</p> <p>児童は、漢字の読み仮名や文章の読み込みを入念に行い、録音をやりなおすといった真剣さが見られた。</p> <p>「ひなげし」の会員からは、文字の読み方や読むスピード等のアドバイスを行い、児童とも楽しそうにコミュニケーションをとりながら活動していた。</p>						 

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都農町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		折り紙で街を飾ろう						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	町内福祉施設や学校へ赴き地域の方々といれあうボランティア活動を行っている、都農町いれあい会の会員と交流しながら折り紙作品を制作、町内の主要観光施設である都農駅と、道の駅つの2箇所に作品を展示して頂き、まちづくりの一環としてボランティアに参加していただいた。						活動分野	
							まちづくり	
実施日	令和6年7月23日(火)							
活動場所(建物名等)	都農町社会福祉協議会(都農町老人福祉館)							
協力団体	都農町いれあい会							
総数 (体験者数+協力者数)							22名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		16					16名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						6	6名	
活動の様子など	<p>参加した児童は、思い思いの色や柄の折り紙で制作を行い、わからないことや、色合いについてボランティアへ質問したり、児童同士で話しながら活動した。児童からは、「パンダを家族にしたり、顔にこだわって作った。」「飾ってあるところを友達と見に行きたい。」との声が聞かれた。</p> <p>いれあい会会員からは、「子ども達が楽しそうにしてくれて、個性的な作品ができて良かった。」との声があった。</p>						 	

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都農町社会福祉協議会
-------	------------

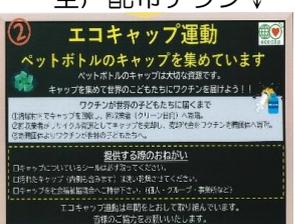
ボランティア体験プログラム名		花いっぱいになーれボランティア						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	町内の小学生や老人クラブ役員に募って、花植えのボランティアに参加して頂きました。町内各事業所、図書館、駅等に花を植えたプランターを配り、町民の方々に花を観て元気になってもらいたいというボランティア活動です。						活動分野	
							自然・環境	
実施日	令和6年8月7日(水)							
活動場所(建物名等)	都農町社会福祉協議会(老人福祉館・車庫倉庫)							
協力団体	三鍋種苗店、都農町老人クラブ連合会							
総数 (体験者数+協力者数)							11名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
		5				2	7名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
						4	4名	
活動の様子など	<p>当日は日差しもあり、気温も高く熱中症に注意しながら活動を行った。今回も、三鍋種苗店の方に花の植え方の指導等をしていただいた。個人や親子で参加してくれた参加者、都農町老人クラブ会員の方々は、色合いや花の向きを考えながら、手際よく、楽しそうに活動していた。</p> <p>完成した50鉢のプランターは、都農町内の各事業所や図書館等に、観た方々が笑顔になってもらえるようにと、飾らせていただいた。花を飾っていただいた企業の担当者から、「去年のプランターを再利用して花を植えて飾ってます。今年も楽しみにしてました。」とのコメントを頂いた。</p>						 	

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

		社 協 名		門川町社会福祉協議会			
ボランティア体験プログラム名		クリーン作戦					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	かどがわ納涼花火大会翌日の清掃活動をとおして、地域貢献活動と住民同士の交流に取り組む。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和6年8月25日(日)						
活動場所(建物名等)	門川漁協周辺						
協力団体	門川町観光協会、門川町ボランティア連絡協議会						
総数 (体験者数+協力者数)							75名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			4			65	69名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						6	6名
活動の様子など	<p>早朝から、多くの参加者に集まっていただいた。参加者が4か所のコースに分かれてスムーズにゴミを拾い、分別まで行うことができた。他団体や中学生とのコミュニケーションも取りながら楽しく活動ができた。</p>						 

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	諸塚村社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	生まれ変わるエコキャップ						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	リサイクルの促進、諸外国における医療支援を目的として、また、身近な物で誰もが気軽にできるボランティア活動として、ペットボトルキャップ収集の協力依頼を行う。						活動分野
							複数の分野
実施日	令和6年7月1日(月)～9月30日(月)						
活動場所 (建物名等)	村内全域・事業所・諸塚村中央公民館						
協力団体	地区公民館・ボランティア連絡協議会 村内事業所・諸塚村女性連絡協議会						
総 数 (体験者数+協力者数)							103名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	5	5	2	1		73	86名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						17	17名
活動の 様子など	<p>実施期間中は、村内の各家庭や事業所・当事者組織などで収集されたペットボトルキャップが社会福祉協議会へ届けられた。収集したキャップは全てリサイクル業者へ提供し、約130kgのキャップが65人分のポリオワクチン費用へ還元された。 今後も住民や関係機関と協働し、この取り組みを継続していきたい。</p>						
	<p>エコキャップ推進運動寄附報告 令和5年6月～令和6年9月現在までに集まったペットボトルキャップを有限会社クリーン日向に寄附しました。ご協力ありがとうございました。引き続き、社会福祉協議会へ依頼してまいります。引き続きご協力をお願いします。</p>  <p>45kgのゴミ袋15袋分～約130kg集まりました(個人116人)ノ事業所(33団体)ノワケ分65名分</p> <p>キャップはリサイクル業者に提供され、そのお金が「世界の子どもにワクチンを日本国連会」を通じてポリオワクチン購入に充てられる仕組みになっています。</p>						<p style="text-align: center;">全戸配布チラシ↓</p>  <p style="text-align: center;">←広報誌掲載記事</p>

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	諸塚村社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		第1回「スポーツ×ボランティア体験inもろつか」					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	誰もが安心して暮らせるむらづくりを目的として、スポーツ・福祉体験といったツールを活かして、身近に地域共生社会を考える機会を創出する。						活動分野
							福祉
実施日	令和6年8月17日(土)						
活動場所(建物名等)	諸塚村中央公民館(2階ホール)						
協力団体	ボランティア連絡協議会・村内幼稚園・村内小中学校 高校生・一般ボランティア						
総数 (体験者数+協力者数)							77名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	11	8	1	1		11	32名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
				3		42	45名
活動の様子など	<p>幼児から大人まで幅広い世代の参加があり、スポーツ体験(スカットボール・ボッチャ・フライングディスク・輪投げ・カローリング)と併せて、福祉体験(アイマスク・車椅子・高齢者疑似セット)を実体験しながら、介助方法についても学べるボランティア活動を実施した。</p> <p>活動実施日には防災活動の普及・啓発の為に、防災用品の展示コーナーを設置し、ハイゼックス袋を活用した防災食の配付も行った。</p> <p>児童の参加促進の為に計画した「縁日屋台」も参加者に喜ばれ多数の参加者に体験いただいた。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	椎葉村社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		松尾ボランティアのつどい（体験編）					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	【目的】 買い物に困りを抱える対象者に対し、同じ地域に住む体験者が買い物ボランティアをすることで、ボランティアの必要性や地域の困りごとを把握する。 【内容】 買い物の依頼シートをもとに、地域の商店で商品を購入し、対象者宅にお届けする。お届けした際に、対象者の様子や困りごとを聞く。	活動分野		福祉			
実施日	令和6年8月23日（金）						
活動場所（建物名等）	椎葉村松尾 大いちょうふれあいセンター→鹿瀬商店→対象者宅						
協力団体	地域住民（ボランティア）地区公民館（公民館長）、集落支援員						
総 数 （体験者数+協力者数）							14名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		2				12	14名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
							0名
活動の様子など	<p>松尾大いちょうふれあいセンターにボランティア体験者が集合し、ボランティア体験の対象者（4組5名）の買い物リストに応じ、ボランティア体験者を4つのグループに分け、商品の購入先「鹿瀬商店」へ。商品を購入後、自宅で待つ対象者宅へ訪問し、商品をお届けする。</p> <p>また、会話を通じて対象者の方の体調や買い物の困りごとなどを聞くことで対象者がどんなことに困っているかをボランティアさんに感じていただいた。</p> <p>訪問後は再度ふれあいセンターに集合し活動内容を振り返り、今後の地域でのボランティア活動の必要性や体験の感想などを発表した。</p>						



※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	椎葉村社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名	サロンふれあい体験						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	村内各地域で開催されているふれあいいいきサロンでの活動ボランティアとして参加者と交流する。						活動分野
							福祉
実施日	令和6年7月1日(月) ~ 9月30日(月)						
活動場所(建物名等)	村内各サロン会場						
協力団体	各開催サロンボランティア						
総数 (体験者数+協力者数)							39名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		2				35	37名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						2	2名
活動の様子など	<ul style="list-style-type: none"> ・7/3 旧岩屋戸サロン 新規サロンとして開催。あまり外に出歩かなくなった地域の人たちの集う場所を作りたいとボランティアの方がサロンを企画した。 ・7/23 尾前サロン 活動ボランティアさんがゲームを考えてきたとおしゃみをつかったゲームを実施。手作りの景品も提供され皆さん喜んで持ち帰られた。 ・8/20 尾前サロン 小学生2名がサロンに参加。ペットボトルボウリングやおしゃみをつかったリズム遊びのお手伝いや高齢者との交流をした。 						旧岩屋戸サロン
							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

		社 協 名		高千穂町社会福祉協議会			
ボランティア体験プログラム名		わが町応援隊～地域子ども食堂まんまるカフェ					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	生活支援、ボランティア活動支援事業。 子どもから高齢者までの幅広い世代間交流を通して、 地域の絆づくりや安心して暮らせる町づくりを目指す。						活動分野
							まちづくり
実施日	令和6年 7月 20日(土)						
活動場所 (建物名等)	ゆめゆめプラザTAC						
協力団体	JAたんぼぼ会						
総 数 (体験者数+協力者数)						97名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		56				26	82名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						15	15名
活動の様子など	<p>食堂オープンの前に七夕飾りを制作した。 献立は「高千穂牛カレー」「きゅうりの浅漬け」「フルーチェ」。 JAたんぼぼ会のボランティアさんで調理され、102食の美食数だった。 食事だけではなく、レクリエーションを楽しみに来場する子ども達も多い。 ご家族での参加も多くみられた。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高千穂町社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名	ボランティア体験事業～音訳ボランティア体験						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動へのきっかけづくりや理解促進を行い、ボランティア活動の推進や地域住民との交流を図る。						活動分野
							福祉
実施日	令和6年7月26日(金)						
活動場所(建物名等)	高千穂町中央公民館 視聴覚室						
協力団体	高千穂ひかりの会						
総 数 (体験者数+協力者数)							9名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			5				5名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						4	4名
活動の様子など	<p>音訳ボランティア「高千穂ひかりの会」の協力で、高千穂中学校の中学生5名が音訳ボランティアを体験した。</p> <p>月に1回発行される「広報高千穂」を音声化しCDに録音する活動を行った。</p> <p>聞き取りやすい読み方のコツなどの指導の後、何度も読み上げの練習や読み方の確認を行い、本番に臨んだ。</p> <p>1人1ページずつ担当し、出来上がったCDは目の見えない方2名に送付した。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高千穂町社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名	わが町応援隊～手話教室						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	生活支援、ボランティア活動支援事業。 子どもから高齢者までの幅広い世代間交流を通して、地域の絆づくりや安心して暮らせる町づくりを目指す。						活動分野
							福祉
実施日	令和 6 年 7 月 31日 (水)						
活動場所 (建物名等)	押方小児童クラブ						
協力団体	手話サークルたかちほ						
総 数 (体験者数+協力者数)							28名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		19				2	21名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						7	7名
活動の様子など	<p>聴覚障がい者である手話の講師も含め、7名の手話サークルの方達が「手話であそぼう」という趣旨で開催した。 体全体を使って単語を覚えたり、トトロの「散歩」の曲を手話をしながら歌った。 子ども達は皆楽しそうに手話を習っていた。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高千穂町社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名	ボランティア体験事業～絵てがみ教室						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動へのきっかけづくりや理解促進を行い、ボランティア活動の推進や地域住民との交流を図る。						活動分野
							文化・芸能
実施日	令和6年8月1日(木)						
活動場所(建物名等)	田原小児童クラブ						
協力団体	絵てがみ講師						
総 数 (体験者数+協力者数)							25名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		19					19名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						6	6名
活動の様子など	<p>児童クラブで体験学習を行った。 施設に入所されている高齢者や家族、友達に宛て、思い思いの絵を描かれた。 1人1枚に集中して描く子や、3枚4枚と描く子とそれぞれが伸び伸びと楽しんでいた。 高齢者施設宛てにできあがった絵てがみは、施設に届け貼りだしていただいた。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名

高千穂町社会福祉協議会

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験事業～絵てがみ教室					
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動へのきっかけづくりや理解促進を行い、ボランティア活動の推進や地域住民との交流を図る。						活動分野
							文化・芸能
実施日	令和6年 8月 9日(金)						
活動場所 (建物名等)	旭ヶ丘 学童クラブ						
協力団体	絵てがみ講師						
総 数 (体験者数+協力者数)							33名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		28					28名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						5	5名
活動の様子など	<p>小学校の先生も1名参加された。 学童クラブで体験学習を行った。 施設に入所されている高齢者や家族、高校生ボランティアに宛て、自由に絵てがみを作成した。 高齢者施設宛てにできあがった絵てがみは、施設に届け貼りだしていただいた。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高千穂町社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名	わが町応援隊～ふらいぱんでパン						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	生活支援、ボランティア活動支援事業。 子どもから高齢者までの幅広い世代間交流を通して、地域の絆づくりや安心して暮らせる町づくりを目指す。						活動分野 防災・安全
実施日	令和 6 年 8 月 16日 (金)						
活動場所 (建物名等)	高千穂町社会福祉協議会 デイルーム						
協力団体	高千穂日赤奉仕団						
総 数 (体験者数+協力者数)							10名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		2	1			2	5名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						5	5名
活動の様子など	<p>「ライフラインが停止した災害時でも作れるパン」作りイベントを開催した。カセットコンロとフライパンでロールパンを作った。</p> <p>日赤奉仕団の方々に協力していただき、事前に試作会も行い、美味しいパンができあがった。</p> <p>出来上がったパンは、社協の活歩クラブの方達にも食べていただいた。</p>						

- ※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高千穂町社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験 プログラム名	青少年ワークキャンプ						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	夏休みを利用し施設体験に参加することで、地域福祉への理解や関心を深め、心豊かな人間形成を図る。						活動分野
							福祉
実施日	令和 6 年 8 月 21 日 (水) ~ 8 月 23 日 (金)						
活動場所 (建物名等)	特別養護老人ホーム 雲居都荘						
協力団体	特別養護老人ホーム 雲居都荘						
総 数 (体験者数+協力者数)							1 名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
				1			1 名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
							0 名
活動の 様子など	<p>コロナウィルス感染症などの影響で、5年間休止状態だった青少年ワークキャンプに、将来は福祉の道に進むと決めている生徒さん1名の参加希望者があった。</p> <p>実際にシーツ交換や食事介助、お風呂の軽介助など、施設の業務を行った。</p> <p>参加者は「将来をイメージすることができた」と充実した時間を過ごすことができたようだった。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高千穂町社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名		わが町応援隊～地域子ども食堂まんまるカフェ					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	生活支援、ボランティア活動支援事業。 子どもから高齢者までの幅広い世代間交流を通して、地域の絆づくりや安心して暮らせる町づくりを目指す。						活動分野
							まちづくり
実施日	令和 6 年9月28日 (土)						
活動場所 (建物名等)	老人福祉館						
協力団体	JAたんぼぼ会						
総 数 (体験者数+協力者数)	75(内社協職員4)						71名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		52				1	53名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						18	18名
活動の様子など	<p>絵本の読み聞かせをされているボランティア団体「えほん畑」と共同開催。 昨年は「こもれびはなし会」と時間が重なってしまい、参加者が「まんまるカフェ」に集中したため、本年は先に読み聞かせを行い、昼食を「まんまるカフェ」でとってもらうよう、11時頃から食事を開始した。 この日は近くの体育館で幼保園の運動会が開催され、終了後に来場した家族もいた。込み合う時間に人手が足りず困っていると、来場していた小学生が自ら受付や配膳の手伝いをしてくれ、大変嬉しく助かった。 次回も手伝いたいと開催日を尋ねて帰っていった。来場した子ども達もボランティアとして参加することでよい経験になるのではないかな。今回は混雑もなく全体的に緩やかな流れとなり、無事に終了した。</p>						 <p>(写真)</p> 

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

		社 協 名		日之影町社会福祉協議会				
ボランティア体験プログラム名		あなたの望み叶えます						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	独居高齢者等の普段できない作業（粗大ごみ運搬他）をボランティアで解決。また災害ボランティアセンター訓練も兼ねて開催するため、町民の方への理解、広報にもつながっている。					活動分野		
						防災・安全		
実施日	令和6年 10月 6日（日）							
活動場所 (建物名等)	平底癒しの森運動公園							
協力団体	日之影町ボランティア連絡協議会							
総 数 (体験者数+協力者数)							59名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						42	42名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						17	17名	
活動の様子など	<p>今年度は、16件の望みに対し、42名のボランティア参加がありました。 災害ボランティアセンター訓練も兼ねて望みを解決できたことは、実際の有事の際にも生かせると、実感した次第です。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

		社 協 名		五ヶ瀬町社会福祉協議会				
ボランティア体験プログラム名		夏ボランティア体験隊！						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容		夏休みを利用して町内の「デイサービス」や「高齢者サロン」などにてボランティア体験を行い、高齢者や幼児と交流し福祉のお仕事について学ぶ。					活動分野	福祉
実施日		令和6年7月29日(月)・8月中						
活動場所(建物名等)		福祉センター ・ 各施設						
協力団体		社会福祉協議会 介護保険課・一般相談支援委員・相談支援委員						
総 数 (体験者数+協力者数)							20	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			20				20	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0	名
活動の様子など	<p>事前学習では、福祉センターに集まりデイサービスの仕事についてお話を聞き、その後車いす体験を行った。</p> <p>デイサービスの仕事について真剣に聞いていた様子で、仕事の1日の流れや高齢者とのコミュニケーションの取り方等を学んだ。また、車いすに乗る体験をし、乗る側の気持ちを知った事で、押す側として気を付けた方が良い事などを学んでいた。</p> <p>後日行った福祉施設のボランティア体験では、各施設で先生方のお話を聞いて、ボランティアに取り組む中で、大変さややりがいなどを感じたようだった。</p>					 		

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	五ヶ瀬町社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名		加勢の日						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	町内在住のおおむね85歳以上の一人暮らし高齢者宅を訪問し、お話や清掃活動を行うことで、地域での見守りや交流を行うことを目的に実施した。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和6年8月3日(土)							
活動場所 (建物名等)	五ヶ瀬町 福祉センター 各お一人暮らし宅							
協力団体	いごかせ会・五ヶ瀬町ボランティア連絡協議会							
総 数 (体験者数+協力者数)							38名	
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		10	7	2		10	29名	
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						9	9名	
活動の 様子など	<p>ボランティア4名程度のグループで一人暮らし高齢者宅を訪問した。 熱中症や詐欺防止等の話を交えながら楽しくお話し、ボランティアの子供たちもじっくりと相手の話を聞いていた。 また、窓ふきなどの屋内外の清掃活動を行い、訪問先の方には大変喜んでいただいた。 ボランティア参加者からは高齢者と交流し、逆に元気をいただいたという感想をたくさん聞くことが出来た。</p>						  	

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	五ヶ瀬町社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験 プログラム名	みんなの防災じゅく						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	いつ起こるかかわからない防災に備えて自分達にできる” 防災”について学んだ。世代間交流も交えながら非常食作 りと新聞紙のお皿と牛乳パックでスプーンを作る体験を行 い、最後に皆で非常食を試食した。						活動分野
							防災・安全
実施日	令和 6 年 8 月 8 日 (木)						
活動場所 (建物名等)	五ヶ瀬町 福祉センター						
協力団体	日赤赤十字社 宮崎県支部 五ヶ瀬町赤十字奉仕団						
総 数 (体験者数+協力者数)							18名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		7	5			6	18名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
							0名
活動の 様子など	<p>非常食作り体験では、赤十字奉仕団のご指導のもとポリ袋で湯煎して作る”さば缶カレー”と”豆乳プリン”ハイゼックスで”コーンごはん”を作った。</p> <p>また、自分達で作った新聞紙のお皿と牛乳パックのスプーンを使って非常食を食べた。参加した子供たちは皆で協力しながら作業を行い、楽しみながら”防災”について学ぶことができた。</p> <p>参加者からは「初めて非常食を作った。」「また家でもやってみよう。」などの声が聞かれた。</p>						 

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

みやざきボランティア体験月間2024

実施要領

趣 旨

宮崎県社会福祉協議会では、平成8年から毎年7月から9月までの3か月間を「みやざきボランティア体験月間」として位置づけています。

昨年度は、5月に新型コロナが「5類感染症」へと移行し、行動制限が大幅に緩和されたことにより、各地域におけるボランティア活動は、参加者数でもコロナ禍以前の8割まで回復しました。今後の更なる活動の活発化に向けて、ボランティア活動への参加促進を図るためにも、つながりの再構築を強化する新たな視点での取り組みが求められます。

「みやざきボランティア体験月間」では、市町村社会福祉協議会(ボランティアセンター)やNPO・ボランティア団体の協力のもと、福祉、自然・環境、まちづくりなど様々な工夫をこらしたボランティア体験プログラムを提供し、県民のボランティア活動への参加ときっかけづくりを応援します。

名 称

みやざきボランティア体験月間2024

実施期間

令和6年7月1日(月)から9月30日(月)まで

提唱団体

社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会

後援団体

宮崎県
宮崎県教育委員会
宮崎県市町村ボランティア連絡協議会

実施団体

市町村社会福祉協議会(ボランティアセンター)、NPO・ボランティア団体



ボランティア体験プログラムの内容について

各市町村社会福祉協議会（ボランティアセンター）が、下記の表を参考に、NPO・ボランティア団体と協力して、参加される方が体験できるプログラムを企画実施します。

実施に当たっての留意事項

活動分野	種類		内容例示
自然・環境	自然や環境を守るための活動		道路・公園などの清掃、海浜美化活動(ごみ集め)、植樹、森林の間伐、野鳥の保護活動、廃油を使った石鹸作りのサポートなど
国際交流・多文化共生	国際交流・国際協力に関する活動		通訳、難民救援、技術援助、砂漠の緑化活動(植林)、海外への食料援助、留学生支援 など
	多文化共生に関する活動		多言語での生活・医療相談、外国人の子どもサポート、多文化共生の理念を広げる活動 など
福祉	高齢者を対象とした活動		高齢者と若者(子ども)との交流の場づくり、高齢者へのレクリエーション指導及び相手、生きがいづくりのための技能指導、友愛訪問や散歩相手、寝たきりやひとり暮らしの高齢者への給食サービス など
	障がい者を対象とした活動		視覚障がい児やし体不自由者の学校などへの誘導、障がい者へのレクリエーションまたは技能指導、在宅障がい者への友愛訪問・訪問介助サービス、障がい者の社会参加協力(車イスの提供など)、点訳・朗読・レコーディング・手話 など
	乳幼児・児童・青少年を対象とした活動		赤ちゃん相談、公園などでのレクリエーション指導、子ども会の援助・指導、児童保育、いじめ電話相談 など
防災・安全	安全な生活のための活動		地域の危険場所点検のための巡回、通学路の安全確保活動、交通安全運動 など
	防災・被災者支援に関係した活動		救援物資の確保・輸送、炊き出しなどの災害時の救援、がれき・土砂の撤去、家屋の片付け・清掃補助、仮設住宅への引越補助、災害復旧のための募金活動、病院等への移送・送迎、生活物資の提供・運送、被災地の高齢者の話し相手、被災地の子どもの遊び相手、復興の状況に関する情報提供、復興支援イベントの企画・実施、「火の用心」の巡回 など
まちづくり	まちづくりのための活動		道路に花を植える、駅の自転車置き場の整理、都市と農村の交流、地域団体のリーダーとしての活動、村おこし・地域おこしの活動 など
文化・芸能	スポーツ・文化・芸術に関係した活動	スポーツ	スポーツ教室における指導、スポーツ会場の警備、スポーツ大会の運営 など
		社会教育	各種講習会の開催サポート、情報弱者(パソコン)の支援など
		文化・芸術	音楽家・芸術家の育成支援、市民劇団の開催、演劇の鑑賞会の企画、伝統文化の継承と普及 など
その他	その他の活動		生活困窮者への支援、ボランティアのサポート など

1 ボランティア体験の内容や参加者募集等の情報発信は、宮崎県ボランティアセンターホームページ「ぶーら・ボ～ラ」を御活用ください。(<http://www.bura-vola.org/>)

2 宮崎県社会福祉協議会は県内で実施されたボランティア体験プログラムを報告書として作成し、広く情報公開してまいりますので、市町村社会福祉協議会（ボランティアセンター）においては、事業終了後ボランティア体験の様子を別添様式により御報告ください。

なお、報告する場合の参加者数については、ボランティア活動を体験した参加者とそれ以外の関係者（企画者等）の人数がそれぞれ分かるよう集計してください。

御報告いただいた内容は、本会ホームページ、Facebook 上でも公開させていただく予定ですので、あらかじめ御了承ください。



みやざきボランティア活動推進
マスコットキャラクター「ボラみん」

【問合せ先】

社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会 地域福祉部
地域・ボランティア課（宮崎県ボランティアセンター） 担当：奥野
〒880-8515 宮崎市原町2番22号 宮崎県福祉総合センター 本館3階
TEL：0985-25-0539 FAX：0985-31-6575

たくさんのご参加、

ありがとうございました。

